

総合型選抜入試の目的と特徴

経営学部の総合型選抜入試は、経営学部の求める人物像に合致し、自分自身の持つ長所を的確に伝え、かつそれを伸ばさせるために入学後にどのような活動を行うかを的確に伝えることができるかをプレゼンまたは、課題レポートおよび個人面接により評価し、選抜します。また、選考方法による課題テーマの違いはなく、共通のテーマとなります。各選考方法の違いによる評価の観点には次の通りです。課題探究(プレゼン)型では「自身の考えを他者へ伝える表現力を重視」し、課題探究(レポート)型では「自身の考えを他者へ伝える文章力を重視」します。自身の力を最大限発揮できる選考方法を選択してください。

教育目的

経営学部は、幅広い教養と経営学に関する専門知識を身につけ、事業運営能力・情報分析力・コミュニケーション能力・チャレンジ精神・社会適応力を身につけた人材の育成を教育目的としています。また、6つの幅広い専門的な分野を掛け合わせ、会社経営やビジネスに必要な知識を身につけます。

- 1. 経営・会計 現代ビジネスにおける会社の経営戦略やお金の流れなどの理論を学びます。
- 2. マーケティング “商品が売れる”仕組みを学び、その理論と知識で社会課題を解決する方法を考えます。
- 3. ICTビジネス インターネットやSNSを用い、人と社会をスマートにつなげるビジネス戦略を学びます。
- 4. 国際ビジネス 世界を舞台にしたビジネスの事例を知り、国境を越えた企業経営を学びます。
- 5. ブランド・ファッション アパレルやインテリアブランドの“売れる仕組み”をつくりだす理論や知識を学びます。
- 6. スポーツマネジメント スポーツを通じてビジネスを学ぶとともに、スポーツへのビジネス活用法を考えます。

求める人物像

経営学部は、建学の精神およびミッション・ステートメントに則り、阪南大学アドミッション・ポリシーを前提として、次に掲げる人物の入学を希望します。

1 [知識] [技能]	高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有している人
2 [思考力] [判断力] [表現力]	阪南大学アドミッション・ポリシー記載のものに加えて、明確な根拠に基づいて筋道立てて考え、それを文章やプレゼンなどで他者にわかり易く伝える能力がある人
3 [関心] [意欲]	3-1 [各分野への関心] 以下の分野における様々な問題に関心を持っており、理論を学び、フィールドリサーチやアンケート調査等を通じて新たな知見を見出したいと考えている人 [経営学部の分野] ■経営・会計 ■マーケティング ■ICTビジネス ■国際ビジネス ■ブランド・ファッション ■スポーツマネジメント
	3-2 [将来への意欲] 本学で身につけた知識と経験を活かして、将来、上記の分野で活躍しようと考えている人

選考方法および課題、選考における評価基準

課題探究(プレゼン)型

選考方法

- ①学修計画書：出願時に提出する事前提出課題です。
- ②プレゼン：学部で指定されたテーマについて、試験当日に8分程度のプレゼンを実施します。プレゼンの方法は試験室内で実施可能な範囲であれば自由です。個人の機器を持ち込む場合は、試験当日に別室にて接続テストを行うため、試験中に監督者による機器接続等の補助は原則としてできません。そのため、機器の不具合等に備え、プレゼン資料を印刷したものを必ず3部持参してください。機器の不具合等により、機器の利用から紙資料によるプレゼンへ方法が変更された場合でも、評価に影響が出ることはありません。なお、機器を利用されない方で配付資料がある場合は、資料を3部持参してください。
- ③学習・調査記録：学修計画書とプレゼン資料の作成過程と、作成する際に読んだり、調べたり、取り組んだりした書籍や新聞記事、インタビューやアンケート調査、イベント等を、取り組んだ日ごとに記録して、そこから得られた知見等も合わせて「学習・調査記録」としてまとめて試験当日に面接担当者へ提出してください(原本をコピーして計2部持参)。この「学習・調査記録」も採点対象になります。記入用紙は願書に同封しています。足りなくなった場合はコピーをするか、阪南大学入試サイトの「総合型選抜入試 Web サイト」からダウンロードし、印刷してください。
- ④個人面接：試験当日、「学修計画書」および「プレゼン」、「学習・調査記録」をもとに質疑応答を行います。
※試験時間は「プレゼン」と「個人面接」をあわせて20分程度です。

プレゼンテーマ 下記の課題テーマを参照 評価基準 下記の評価基準を参照

課題探究(レポート)型

選考方法

- ①学修計画書：出願時に提出する事前提出課題です。
- ②課題レポート：出願時に提出する事前提出課題です。学部で指定されたテーマについて、800字～1,000字程度で課題レポートを作成してください。
- ③学習・調査記録：課題レポートの執筆過程と、執筆する時に読んだり、調べたり、取り組んだりした書籍や新聞記事、インタビューやアンケート調査、イベント等を、取り組んだ日ごとに記録して、そこから得られた知見等も合わせて「学習・調査記録」としてまとめてください。また、レポートを完成させて提出(出願)した後に読んだ文献や取り組んだイベント等も「学習・調査記録」に継続して記録し、試験当日に面接担当者へ提出してください(原本をコピーして計2部持参)。この「学習・調査記録」も採点対象になります。記入用紙は願書に同封しています。足りなくなった場合はコピーをするか、阪南大学入試サイトの「総合型選抜入試 Web サイト」からダウンロードし、印刷してください。
- ④個人面接：試験当日、「学修計画書」および「課題レポート」、「学習・調査記録」をもとに質疑応答を行います。
※試験時間は15分程度です。

課題レポートテーマ 下記の課題テーマを参照 評価基準 下記の評価基準を参照

課題テーマ (課題探究(プレゼン)型・課題探究(レポート)型共通)

以下の6問の中から1つを選択してください。

※プレゼン型を選択した方は、課題レポート用紙(原稿)を出願書類送付時に提出する必要はありません。

- ①インターネット通販が普及することで、スマートフォンで気軽に買い物ができるようになりました。こうしたデジタルを通じた消費が広まる中で、店舗などのリアルな施設は変化を求められています。デジタルとリアルの強み・弱みを挙げて、リアルの施設はどのような対策をすべきか提案してください。
- ②ICTとはInformation and Communication Technologyの略で、「情報通信技術」を意味します。近年は情報処理や通信技術そのものだけでなく、5GやWi-Fiに代表されるネットワーク環境を活用した情報(SNS)・知識・製作物(ゲームアプリ)を共有し、それらを活用したビジネスが増え私たちの生活に定着しています。ICTが社会生活や産業の発展、企業が成長することに必要なのはなぜか、理由を説明してください。
- ③世界的に活躍している日本企業の現状と今後の課題について、あなたが興味ある日本企業1社の事例を取り上げて説明してください。
- ④あなたが特に関心を寄せるブランドを1つ挙げ、そのブランドは他のブランドと比べてどのような点で優れていると言えることができるか説明してください。その際、必ず「歴史」と「社会」という言葉を使うようにしてください。
- ⑤あなたが特に関心を寄せるファッションの事例(人物でも可)を1つ挙げ、その概要・歴史・魅力を説明してください。その際、必ず「消費」と「価値」という言葉を使うようにしてください。
- ⑥あなたが関係する都道府県内にあるスポーツ組織(※)を1つ取り上げ、その組織の現状の課題を分析して、その解決策を考察してください。なお、課題と解決策が複数になっても構いません。
(※)スポーツ組織とは、各競技の統括団体やプロスポーツのチーム・リーグといった大規模な組織から、大学の運動クラブや地域の少年野球クラブといった比較的小さな組織までを意味します。

評価基準

項目	配点	備考
事前提出書類(学修計画書・調査書)	20%	志望動機、学修意欲、高等学校等での努力や姿勢など
■課題探究(プレゼン)型 プレゼン+個人面接+学習・調査記録 ■課題探究(レポート)型 課題レポート+個人面接+学習・調査記録	80%	アドミッション・ポリシー理解度・意欲、計画性、論理性、表現力など アドミッション・ポリシー理解度・意欲、論理性、表現力、完成度など